

「まほろば祭 合唱の部」

素晴らしい響きがありました！

このところ急に秋らしくなってきました。朝、晩の気温も低くなり、市内のあちこちでインフルエンザが流行り出しました。私たちも十二分に注意したいと思います。

さて、昨日は「まほろば祭、合唱の部」が行われました。どのクラスも一生懸命に練習してきた成果を見事に発表していましたね。言葉でみんなの頑張りを表現するのはあまりにも難しく、何と書いたらよいかわかりません。それくらい、それぞれの学年が頑張つて、素敵な歌声を響かせてくれたと思います。合唱は、クラスの絆の強さを表すとも言われます。音楽的なことは別にして、どのクラス

とも遜色のないところまで創り上げることができた。審査員の先生とも話したのですが、コンクールですからとにかく入賞学級を選ばなければなりません。ただ、私も長い教師経験の中で、これだけ賞を決めるのが難しかったこともあまりありません。特に三年生が本当に素晴らしかったし、選曲や表現方法に違いはあっても、一組から七組までが同じレベルにあることが、何よりさすが最高学年だと思いました。体育祭の頑張りそのままに、力強く、響きの美しい、全員の心を一つにした合唱を聴かせていただいたこと、本当に幸せな時間でした。私自身、合唱はとても好きで、担任をしていたときからかなり気合いを入れて取り組んでいたこと、成人式の夜にみんなが集まったとき、誰からともなく三年生の時の歌声をみんなが口ずさんだこと、なぜかみんなの歌声を聴きながら思い出していました。講師の先生から『三位一体』というお話もあ

りましたが、まさにクラスみんなの力を結集した、そんな素敵な合唱であったと思います。朝の練習はもちろんですが、学年の間の休憩時間わずか十五分でも声を出して、最後の最後まで調整をする、そんな姿勢があればこそ、短い準備期間の中で、完成度の高い合唱ができたのだと思います。今日がゴールではなく、南中の伝統はこれからも進化し続けるはず。三年生はもちろんのこと、一・二年生も、引き続き頑張っていきましょう。これからのみんなの歌声が楽しみです。なお、十一月八日に



は、『平松混声合唱団』の演奏を聴くことができます。テレビに出演したり、作曲家から初演を依頼されるなど、本当に素晴らしい合唱団です。ぜひ参考にして、さらに新しい伝統を築き上げてくださいね。

